

新春議員アンケート調査結果

円高などにより、景気の先行きに不透明感

富山商工会議所 / 経営支援課

平成 22 年の日本経済は、前半、僅かながら立ち直りの兆しを見せはじめ、一部では業績がリーマン・ショック直前の水準まで回復した業種も見られたが、猛暑だった夏以降、急激な円高の進行もあり、景気の先行きを不安視する見方が強まった。

こうした中、平成 23 年の富山の景気の見込みはどうか。注目すべき点は何か。当所議員にアンケート調査を実施した。

< 調査結果の概要 >

平成 23 年の国内景気の見通しは「現状が続く」が 55.7%、「今年より悪化する」が 27.3%であったのに対して、「緩やかに好転する」が 13.6%と、慎重な見方が多かった。

また景気回復の時期は、「わからない」が 47.7%と約半数を占め、景気の先行きに対する不透明感が強い。これに続くのは平成 24 年上半年期の 22.7%であった。

景気動向に関して注目しているポイントとしては、「為替の動向」が 65.9%で最も多く、次いで「個人消費の回復」が 44.3%、「アメリカの景気」が 42.0%となった。

経営上の課題で最も多かったのは「販売競争の激化」の 60.2%で、「売上(受注)の減少」が 45.5%、「収益の悪化」が 34.1%と続き、激しい競争の中で売上・収益の確保に苦慮する企業の多さが見て取れる。

当所に対して期待することについては、「行政などへの政策要望実現力」を望む声が 43.2%と最も多く、これに「ものづくり基盤の維持・強化への支援」が 25.0%で続いており、県内産業の経営基盤強化に向けて、行動力をもって取り組むよう期待が寄せられた。

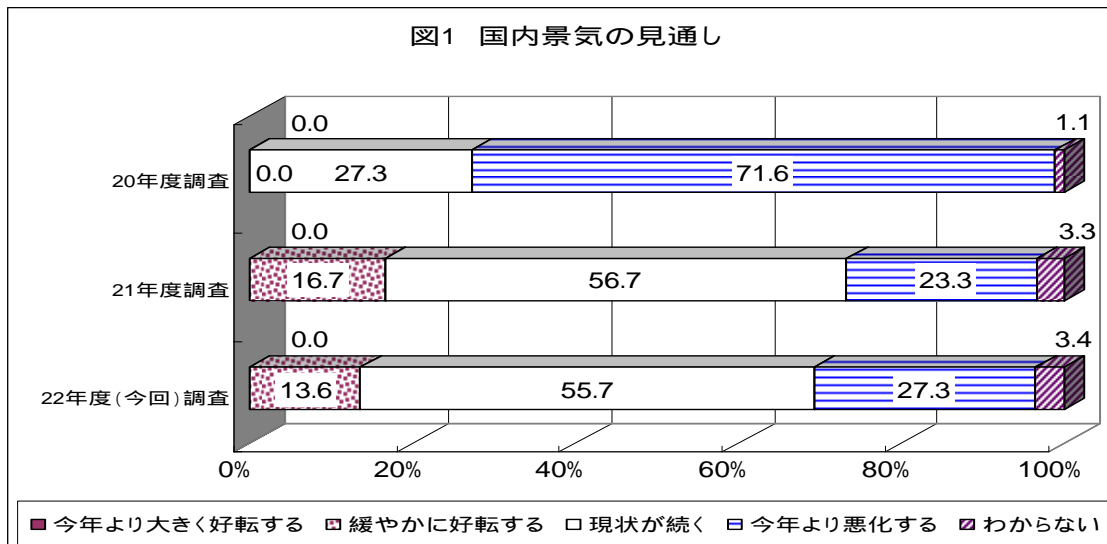
調査実施要領

調査時期	平成 22 年 11 月
調査対象	富山商工会議所議員 130 名
調査方法	調査票をファックスで配布し、回収した
回収数	88 名 (回収率 67.7%)

調査結果

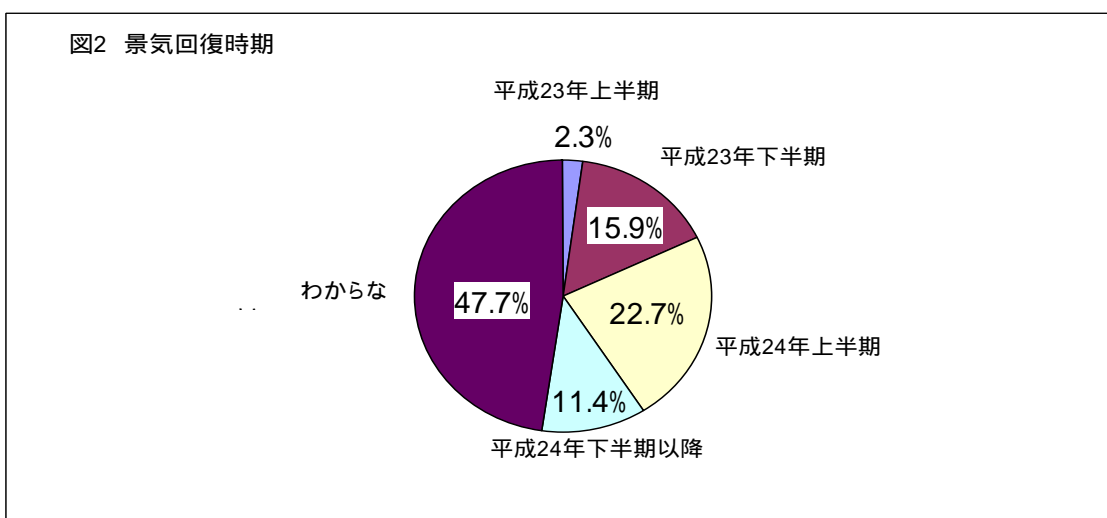
1. 平成 23 年の国内景気の見通し

平成 23 年の国内景気の見通しをたずねた結果が図 1 である。これを見ると、「現状が続く」が 55.7%で最も多く、「今年（22 年）より悪化する」が 27.3%でこれに続いた。「緩やかに好転する」は 13.6%で前年度調査（16.7%）を下回り、全体としては、悪化すると見る方向に僅かにシフトした。



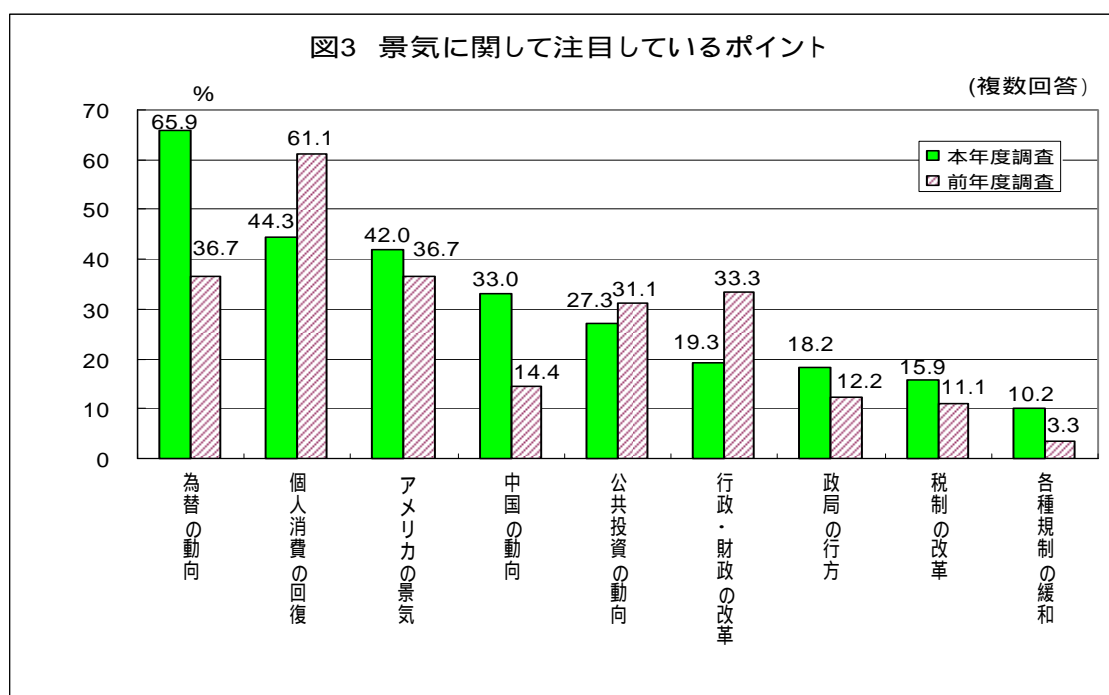
2. 景気回復の時期

景気回復の時期をたずねたところ、図 2 のとおり「わからない」が 47.7%と約半数を占めており、景気の先行き不透明感から、回復時期を予測できずにいる姿が想像できる。また「平成 23 年上半期」が 2.3%、「平成 23 年下半期」が 15.9%であり、この 2 つを合計した“平成 23 年中の回復”を予測する回答は 18.2%にすぎず、景気回復の時期を 1 年以上先と見る見方が強いことを示している。



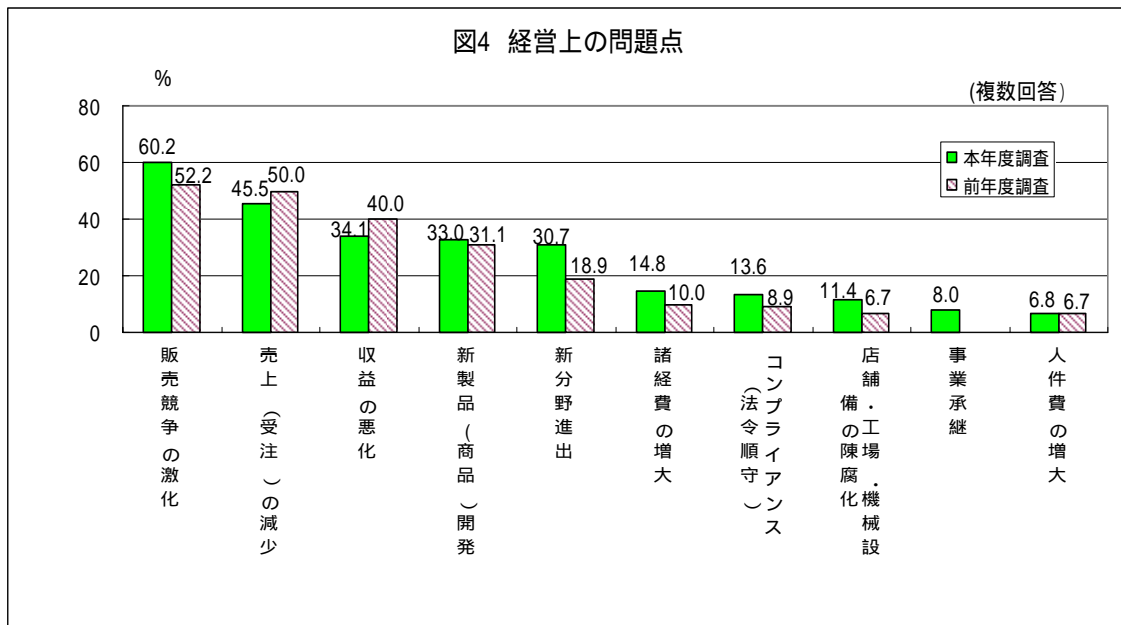
3．景気動向に関する注目点

景気動向に関して注目している点を複数回答でたずねたところ、図3のとおり最も多かったのは「為替の動向」で65.9%と前年度比29.2ポイント上昇した。逆に、前年度最も多かった「個人消費の回復」は44.3%と16.8ポイント減少した。続いて「アメリカの景気」(42.0%)などとなった。「中国の動向」(33.0%)は前年度比18.6ポイントの上昇となったが、中国との経済的関連が強まっていることや、尖閣諸島問題など一部で外交が緊迫した影響が考えられる。前年度33.3%だった「行政・財政の改革」は今回19.3%と14.0ポイント減少した。



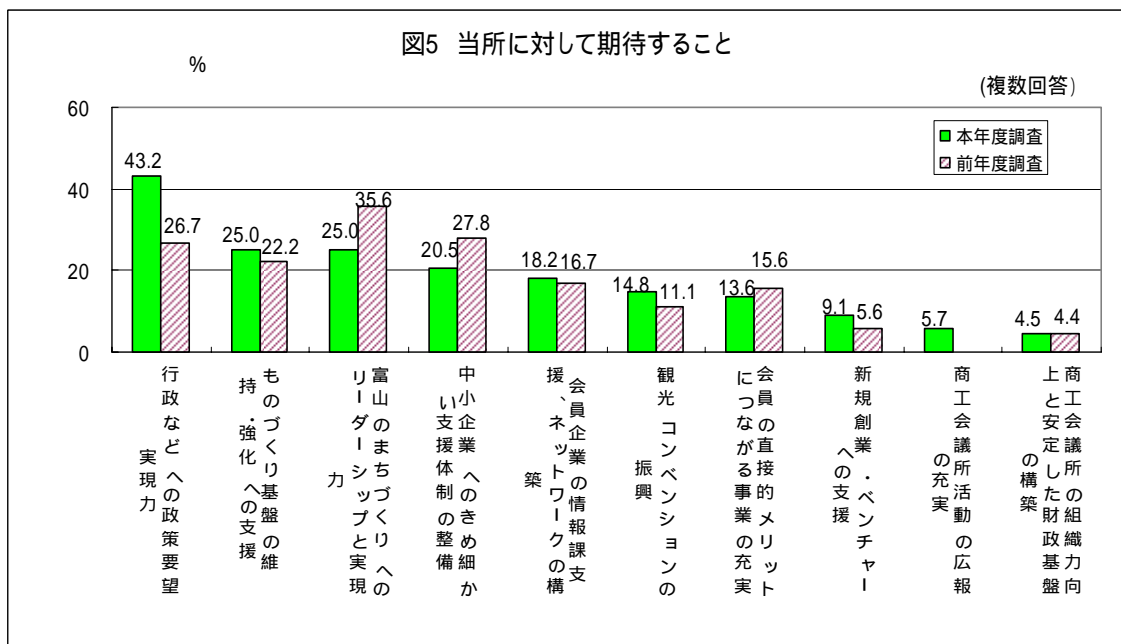
4．経営上の問題点

経営上の問題点について複数回答でたずねたところ、図4のとおり最も多かったのは4年連続で「販売競争の激化」で60.2%、前年度調査から8.0ポイント上昇した。次いで「売上(受注)の減少」が45.5%、「収益の悪化」が34.1%と続いた。そのほか、前年度調査から大きな変化があったのは、「新分野進出」が30.7%で11.8ポイントの上昇。また「事業継承」は前年度0.0%から8.0%に上昇した。



5. 当所に対して期待すること

富山商工会議所に対して期待することは何かを複数回答でたずねたところ、図5のとおり「行政などへの政策要望実現力」が43.2%で最も多く、前年度調査の26.7%(3位)から大きく上昇した。これは、地域の景気回復を求める声などをまとめ、行政に要望し実現させる働きを強く期待されているものと考えられる。次いで「ものづくり基盤の維持・強化への支援」と「富山のまちづくりへのリーダーシップと実現力」がそれぞれ25.0%、「中小企業へのきめ細かい支援体制の整備」が20.5%と続いた。



6. 当所や行政に対するご意見（自由記入）

地元の活性化、元気の復活に向けて、中小企業支援体制整備を期待する。（サービス）

グローバルな中でのローカル強化、個別企業の独自能力発見と育成を支援。（小売）

観光客に対し、土産品などの施設が少ないように思う。また、積極的に集客する方法はないか。ただ、お客を待つだけでは意味がないし、リスクも大きい。（製造）

行政への提言を的確に行い、中小企業を支援することが重要。また、魅力ある街づくりにより、人が集まる富山になるよう、さまざまな施設が必要。（サービス）

富山城を観光拠点にしてはどうか（例えば美術館、地場産食堂、地場産市場など）。

（サービス）

雇用創出力のある中小企業への具体的な支援策と実行。（製造）

当面、産業の一層の空洞化は避けられず、海外交流（特に東南アジア）のネットワーク化を考えてほしい。（卸売）

行政幹部、県会議員との情報交換会等を通じた現実的な商工業支援策協議の場があればよい。（製造）

円高、海外との競争激化により国内製造業（工場）の輸出競争力が低下し、事業を維持していくのが厳しい状況。多面的な支援をお願いしたい。（製造）

情報交換のため、他の委員会や部会との交流、懇談の場がもっと増えるとよい。

（サービス）

（ ）内は回答者の業種を示します。